『松田康博『台湾における一党独裁体制の成立-2006.12

に、現代台湾政治史という研究領域は手がつけられたばかりであり、今後研究が進むにつれて、本書の中の隠れた誤りが修正されていくことを心から望んでいる。

今日まで私は実に多くの方々のお陰で本書の刊行に至った。限られた方のみで失礼ではあるが、以下謝意を述べさせていただきたい。

私は二〇〇三年一月に慶應義塾大学大学院法学研究科から博士号をいただいた。まずは、主査の山田辰雄先生、副査の労をとっていただいた小此木政夫先生、添谷芳秀先生に、この場をお借りして感謝の意を表したい。

麗澤大学外国語学部中国語学科、東京外国語大学大学院地域研究研究科修士課程、慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程に進学し、台湾に留学したこともある私には、三人の指導教授に加え、多くの恩師がいる。

学部時代の指導教授、麗澤大学名誉教授の真野義人先生には、幅広い視野と現地感覚の大切さを教えていただいた。真野先生の慈愛とユーモアに満ちたご指導は教育者としての模範であると思っている。味岡徹先生（聖心女子大学教授）と北村甫先生には、大変お世話になった。武信彰先生（獨協大学教授）、千島英一先生、塚本慶一先生（神田外国語大学教授）、戸張嘉勝・早佳子先生、松田和夫先生（故人）、三潴正道先生には、生きた中国語を厳しく仕込まれた。麗澤の中国語教育は一流であり、どれほど研究に役立ったかわからない。

修士時代の指導教授、東京外国語大学名誉教授（国際教養大学学長）の中嶋嶺雄先生には、アジア・オープン・フォーラムを通じて台湾研究に入るきっかけを与えていただいた。中嶋先生は地域研究の心構えとして、常々「地域のにおいがする研究をしなさい」と言っておられたが、この言葉は私の血となり肉となっている。佐藤公彦先生は、私の中国研究のバックボーンを作っていただいた。佐藤先生とのマンツーマン授業は忘れられない思い出である。

そして、博士論文を指導していただいた慶應義塾大学名誉教授（放送大学教授）の山田辰雄先生には、中華民国史

の基礎を教えていただき、また原稿を真っ赤になるまで直していただいた。山田先生には、今でも研究のみならずあらゆる面でご指導を受け続けている。今後とも山田先生の御恩に報いるべく、研究に精進したいと心に決めている。また博士課程入学以来、小島朋之先生、国分良成先生からは、常に温かい励ましをいただいき、チャンスやチャレンジを与えていただいている。お二人の精力的な研究は、常に私の高い目標とするところである。

大学二年生の時に四カ月半留学した台湾の淡江大学文学院日文系では、公私ともに林丕雄先生（淡江大学名誉教授）のお世話になった。林先生は、私が台湾に関心を持つきっかけを作ってくださった恩師であると同時に、仲人を買って出て下さった恩人でもある。

台湾研究や中華民国史研究の研究者の方々にもお礼を申し上げたい。若林正丈先生（東京大学教授）は、日本における現代台湾政治研究のパイオニアであり、深い学恩を感じている。中嶋ゼミの先輩でもある井尻秀憲先生（東京外国語大学教授）には、親身なアドバイスをいただいている。三田裕次氏（台湾史研究家）には、ご自宅での台湾史勉強会に参加させていただいた。このほか、久保亨（信州大学教授）、佐藤幸人（日本貿易振興機構アジア経済研究所主任研究員）、笹川裕史（埼玉大学教授）、中村元哉（日本学術振興会特別研究員）、松本充豊（長崎外国語大学助教授）、山本真（筑波大学助教授）、渡辺剛（杏林大学専任講師）の各氏の研究からは多くの示唆をいただいた。

山田ゼミを通じて知り合った方々には、これまで本当にお世話になっている。特に大先輩の嵯峨隆（静岡県立大学教授）と家近亮子（敬愛大学教授）の両氏には、深い御恩を感じている。望月敏弘（東洋英和女学院大学教授）、塩出浩和（城西国際大学講師）、高橋伸夫（慶應義塾大学教授）、唐亮（法政大学教授）、安田淳（慶應義塾大学教授）、江崎隆哉（中央大学講師）、段瑞聡（慶應義塾大学助教授）の各氏には、研究者人生のさまざまな側面で刺激や恩恵を受けている。

私の職場である防衛研究所では、第二研究部長であった高木誠一郎先生（青山学院大学教授）に大変お世話になった。防衛研究所の同僚の研究者からは多くの学問上の刺激を受けている。素晴らしい同僚達に感謝の意を表したいと思う。

台湾における党独裁体制の成立

ISBN4-7664-1926-1
C3031 ¥7000E
定価(本体7,000円+税)
97 4766413267
1923031070004

中国国民党の「改造」
第二章 中央の党政関係
第三章 党による地方統制
第四章 党と軍
第五章 党と特務組織
第六章 土地改革政策の決定過程
終章 結論

松田康博

慶應義塾大学出版会

蔣介石の国民党は、なぜ台湾で復活できたのか?

2006.12

豊富な現地資料とインタビューの成果をふまえ、大陸反攻と領袖独裁型党治をめざす政治戦略を中心に鋭く分析した、

慶應義塾大学出版会

台湾における党独裁体制の成立